

議会だより

2021.1.27

No. 188

山梨県昭和町議会

<http://www.town.showa.yamanashi.jp/>



しょうわ



表紙写真

新年触れ太鼓 (西条二区・義清神社)

●表題(しょうわ)については
「押原小学校 6年1組 河田 実侑(かわたみゆ)さん」の直筆です。

特集

② 山梨学院大学の学生から昭和町議会への

政策提案発表会

⑤ 12月定例会で決まったこと

⑧ 一般質問 ここが聞きたい

⑱ 追跡 あの質問はどうなった

政策提案発表会



危機状況下でのCS運営・議会の動向

江藤ゼミ

コロナ禍などの危機的状況においても、教育水準や議会の役割を維持することは重要である。そこで、ICTを活用したCS^{※1}の運営や議会BCP^{※2}の作成、オンライン会議の導入などを提案する。

※1:コミュニティスクール ※2:事業継続計画(P5の「ほたるに聞いてみよう」にて解説)

議会から

【意見1】オンラインで学校運営協議会を開催することについては、力を入れて進めていくよう提案していく。

【意見2】当局ではすでにBCPを作成しているが、当議会ではまだ作成していない。オンラインでの審査などについては慎重に協議する必要があると思うが、災害に備えるためにも、議会BCPについて、早急に議論し作成したい。

昭和田議会の広報公聴活動の現状と課題

日高ゼミ

議会の活動を若者にも知ってもらうため、若者世代が利用しているSNSやYouTubeを活用した情報発信などを提案する。

議会から

【質問】議会だよりの企画の1つである「議会クイズ」への応募が低調だが、若者目線で打開策はないか。

【回答】イラストを加えるなど、目に留まるような工夫をしてはどうか

【意見】昭和田議会では議会モニターが6人いるが、別枠として学生のみなさんにもモニターとして参加してもらいたいくらい参考になる内容だった。

令和2年12月18日(金)、山梨学院大学法学部の教授と学生及び昭和田議会は第3回政策提案発表会を新型コロナウイルス感染症対策を実施した上で開催しました。

今回、学生のみなさんからいただいた提案は以下の5つです

- ① 危機状況下に対応したコミュニティ・スクールの運営
- ② 危機状況における議員・議会の動向
- ③ 昭和田議会の広報公聴活動の現状と課題
- ④ ウィズコロナ時代における防災・危機管理についての提案
- ⑤ ウィズコロナ時代における「新しい生活様式」の支援



ウィズコロナ時代における防災と新しい生活様式の支援

外川ゼミ

ウィズコロナ時代において、避難所での対策や教育現場、企業、飲食店などへの支援体制の整備が問題視されている。そこで、感染症対策を意識した避難所設営や児童生徒のケア策、企業・事業者への支援策などを提案する。

議会から

【意見1】一時的避難の方法として提案いただいた「車中泊」は大変参考になった。また観光バス会社にも協力を依頼できるのではと感じた。

【意見2】感染症が発生したときに感染対策と経済対策を両立することは難しいことだが、提案いただいた内容を参考に当局と協議していきたい。

12月定例会で決まったこと

令和2年12月定例会は、11月30日から12月9日まで10日間の会期で開催しました。町長提出の条例関係10案件、令和2年度一般会計及び特別会計補正予算関係6案件、その他2案件の計18案件を審議しました。

詳細は3月末更新予定のHPの会議録をご覧ください		※石原高明議員は議長のため、採決には加わっていません。	
種 別	案 件 名	内 容	審議結果
議案 第55号	昭和町職員給与条例中改正の件	昭和町職員について期末手当の支給月の引下げを行うための条例改正	全員賛成で 可決
議案 第56号	昭和町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例中改正の件	昭和町特別職の職員で常勤のものについて期末手当の支給月の引下げを行うための条例改正	全員賛成で 可決
議案 第57号	昭和町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例中改正の件	昭和町職員について期末手当の支給月の引下げを行うための条例改正	全員賛成で 可決
議案 第58号	昭和町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例中改正の件	昭和町会計年度任用職員について期末手当の支給月の引下げを翌会計年度から適用するための条例改正	全員賛成で 可決
議案 第59号	学習者用端末充電保管庫購入契約締結の件	小中学生に配布するタブレット端末の充電保管庫購入について	全員賛成で 可決
議案 第60号	昭和町課設置条例中改正の件	大型事業開始に伴い職員の再配置を行うための条例改正	全員賛成で 可決
議案 第61号	昭和町各区区長等常設役員設置条例中改正の件	各区区長代理の会議出席に際し、実費弁償の処遇改善を図るための条例改正	全員賛成で 可決
議案 第62号	昭和町国民健康保険条例中改正の件	新型コロナウイルス感染症に感染した被用者に対する傷病手当金の支給対象期間が延長されたことに伴う条例改正	全員賛成で 可決
議案 第63号	昭和町国民健康保険税条例中改正の件	国民健康保険税の軽減判定所得基準が見直されたことに伴う条例改正	全員賛成で 可決
議案 第64号	昭和町後期高齢者医療に関する条例中改正の件	後期高齢者医療制度の被保険者の保険料における延滞金等の改正を行うための条例改正	全員賛成で 可決
議案 第65号	昭和町介護保険条例中改正の件	介護保険制度の被保険者の保険料における延滞金等の改正を行うための条例改正	全員賛成で 可決
議案第66号 ～第71号	令和2年度昭和町一般会計及び特別会計補正予算について	令和2年度の一般会計及び国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、介護サービス、並びに下水道事業特別会計補正予算について	全員賛成で 可決
議提 第4号	不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書の提出について	不妊治療を行う人が安心して治療に取り組むことができるよう適切な措置を講じることを要望する意見書	全員賛成で 可決

ほたるんに聞いてみよう!

ねえねえほたるん、P2、3の政策提案発表会で学生のみなさんが提案してくれた「BCP」ってなあに？

「BCP」は日本語では「事業継続計画」って言って、自然災害などの緊急事態が発生したときに、被害を最小限に抑えながら事業を続けて、元の状態に戻すための計画のことだよ。これがあれば災害が起きたときにも何をすればいいかわかるから、あわてず適切な行動がとれるんだ。昭和町議会でも作成に向けて動きだしたよ。



地方財源確保を求める意見書

令和2年10月臨時会は、10月22日の1日間の会期で開催しました。今臨時会では、議会提出の1案件を審議しました。

新型コロナウイルス感染症の拡大は、いまだに甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、国民生活への不安が続いています。この中で、地方税等の大幅な減少により、今後の地方財政はかつてない厳しい状況になることが予想されます。

このような状況において、地域の実情に応じた行政サービスを安定的かつ持続的に提供していくためには、地方税等の一般財源総額の確保・充実を強く国に求めていくことが不可欠です。

以上から、昭和町議会では、議提第3号「**新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方財源の確保を求める意見書の提出について**」を10月臨時会に提出し、**全員賛成で可決**しました。その後、内閣府や衆参議院などの関係機関に対して意見書を提出しました。



提案者 河田 あけみ 議員

副議長の交代

令和2年10月16日に石原一好議員から副議長職の辞職願が提出されたことを受け、今臨時会では、副議長の選挙についても行いました。これにより、新たに金丸富一議員（前広報編集常任委員長）が副議長に就任し、小林耐三議員が新たに広報編集常任委員長に就任しました。

新副議長の挨拶

副議長就任にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

副議長の重責を痛感しているところでありますが、議会の運営を円滑・効率的に行えるよう皆様方のお力添えを賜りながら、石原 高明議長の目指す議会改革等の実現に向け、微力ではありますが、誠心誠意、補佐していく所存であります。

また、議員間の意思疎通のパイプ役として、議会の更なる飛躍に取り組んで参りたいと考えております。



副議長
金丸 富一



広報編集常任委員長
小林 耐三

12月定例会委員会質疑

質問は要約
されています

議会だよりではスペースの都合上、審議した議案や質問・答弁の内容を要約して載せています。会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。

産業厚生常任委員会

児童虐待への対応は

海野委員 児童虐待への対応は子育て支援課が担当とのことだが、支援の対象年齢は。また、教育委員会などとの連携は。

子育て支援課長 対象は18歳まで。学校教育課・いきいき健康課の保健師とも協力し合いながら取り組む。また、児童相談所、小中高の学校とも相談しながら対応を考えていく。



新設した子育て支援課

PCR検査の実施を

長田委員 上野原市では65歳以上の要介護認定者や基礎疾患のある人を対象にPCR検査の2万円全額補助をするが、本町でも検討したかどうか。

薬袋委員 昭和町の保育園や学校は安全だとPRする意味からも先生たちにPCR検査を受けてもらってはどうか。

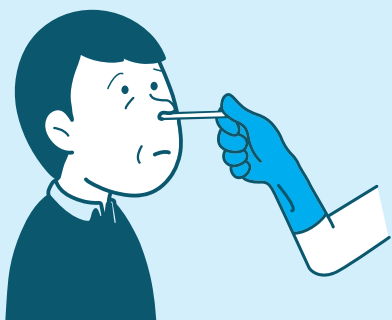
いきいき健康課長 東京都と隣接する上野原市は、同じ県内でも昭和町とは事情が異なる。

PCR検査は、感染が拡大している現段階では、症状のある方や濃厚接触のあった方を優先する必要がある、その体制を脅

かしてはならない。

また、PCR検査が陰性でも、それはその時点で陰性を確認するもので、今後の安全安心を保障するものではない。

このようなことから、本町では上野原市と同様の支援は考えていないが、今後、町内の学校等でクラスターが発生するような場合には、医療機関と相談し、町独自のPCR検査への補助等を検討する必要があると考えている。



太陽光パネルの規制は

石原(高)議員 休耕地等に太陽光パネルを設置する人が増えてきているが、台風でパネルが飛ばされるのが考えられるので規制できないか。

都市整備課長 太陽光パネルについては規制するものがない。開発を伴う行為であれば町で把握できるが、開発を伴わないものについては把握することが難しいので関係課と協議し検討する。

保育園の定員は

河田議員 昭和町の保育園やこども園の定員は、どのような状況になっているか。

子育て支援課長 第2期子ども子育て支援計画

に基づいて実施しているが、他市町の保育園にもお願いしている。できるだけ受け入れられるように動向を見ながら検討していく。

スクラップ置き場への対応は

海野委員 スクラップ置き場への苦情が多いので調査してほしい。

石原(高)議員 以前、油が漏れたことがあるスクラップ置き場は定期的に指導しているか。また市街化調整区域内のスクラップ置き場は町で規制できないか。

都市整備課長 現在、定期的な指導は行っていない。環境経済課と相談しながら検討する。

総務教育常任委員会

予備費の使用状況は

小林委員 今年度はコロナウィルス感染症対策のため、予備費を多く予算化しているが、使用状況は。

総務課長 9月議会にて予備費を1千万円増額したが、9月以降では、スポーツ少年団への感染症対策支援や、総合体育館の事務所エアコンの修理などに予備費を使った。

現在、予算残高は99万5千円となっている。

公営塾の状況と今後は

樋口委員 町長の公約にある公営塾は好評であるが、生徒数は何人か。

また、令和3年2月で終わるが来年度はどうするのか。



土曜学習塾「ほたる學舎」

各区常設役員 設置条例の改正とは

長田議員 この条例改正は、区長代理に対する費用弁償を条例に規定したということか。

また、区によつて区長代理の数は違うが、全員分の予算を計上するのか。

企画財政課長 各区の常設役員の中で、区長代理という役職について、それ以外の役職と同様に会議へ出席した場合、1回につき5000円の費用弁償を行うという改正。

また、区長代理全員分の予算を計上する。

サポカー補助金は

石原(政)委員 車の踏み間違い防止装置の購入補助について、町で現在、検討していることはあるか。



サポカー補助金啓発ロゴ

水源対策特別委員会

地下水採取の適正化に関する条例に基づく井戸設置届出について、担当課より3件の報告があった。

地方分権対策 特別委員会

ふるさと納税の 返礼品は

樋口委員 ふるさと納税の返礼品に印伝の製品は入っているのか。

また、印伝の名刺入れやかばんを登録することはできるのか。

総務課長 ハンコケースが印伝の製品になっている。

また、町内の事業者で製品を売っているだけでは返礼品として扱えない。製造、加工、もしくは付加価値を付けている製品でなければいけない。

Q

「常永ゆめ広場」の活用を!

A

活用方法を検討し、魅力ある公園づくりを進める

かねまる とみかず
金丸 富一 議員

「常永ゆめ広場」は町民の「緑の憩いの場」「ふれあいの場」となるよう建設した。また災害派遣部隊の受け入れ場所、及び応急仮設住宅の設置場所に指定されている。また遊具の設置も検討している。

町長

「常永ゆめ広場」を地域活性化や町内外への新たな文化の情報発信地、また防災基地としての役割にもなるよう、運営方法の再構築をしようか。

金丸



イベントのイメージ

町民の主體的、自発的活動を含め、地域と密着した公園管理を進めていく。

都市整備課長

公園管理は業者に依頼するだけでなく、押原公園のようなボランティアグループの養成などが必要だと思うが、常永ゆめ広場ではどうか。

再質問

今後も地域に愛される都市公園となるよう周辺住民の意向も確認しながら活用方法の検討、管理運営に努め、魅力ある公園づくりを進めていく。

再質問

の利便性を考えて公共施設の再編計画を策定する。中央公民館についても、(仮称)公共施設のあり方検討会や再編計画の中で方策を検討していく。

町長

落札金額が低くなることを望むが、適正な対価が支払われることは非常に重要だ。また、入札金額は、町が提供する金額の記載のない設計書により、入札参加者が企業努力により積算し、作成している。

町長

町では令和2年度から公共施設のあり方検討を進めていて、同年度内に公共施設のあり方について、町民の意向調査の実施と分析を行う予定である。

施策を問う\ここが聞きたい\

一般質問の内容は議会事務局及び2月末更新のHP会議録からも閲覧できます。

※質問・答弁はスペースの都合上、要約されています。

Q

コロナ対策として高齢者に支援金を!

A

高齢者の健康を保つ支援活動を強化する

町長

高齢者が元気で健康を保てるよう、これまで取り組んできている介護予防の観点を重視した支援活動や取り組みを強化していく。新型コロナウイルス感染症対策についても、引き続き検討していく。

薬袋

コロナ禍でも高齢者が健康を保てる支援策として、例えば65歳以上に経口補水液等を補うことを習慣化できるように、5000円の支援金を支給してはどうか。

あいかわ よしお
薬袋 義久 議員

Q

学校で感謝の気持ちを持つ環境づくりを!

A

感謝の心を育てる学校教育の充実に努める

薬袋

子どもの頃から感謝の気持ちを教えることで、それが植え付けられ、行動につながっていく。

学校で感謝する環境づくりは行われているのか。

教育長

各小中学校では、「感謝」を道徳的価値項目として教育課程に位置付け、計画的・系統的に指導を行っている。「感謝」の心を育てる学校教育のさらなる充実と、実効性ある学校・家庭・地域の連携・協働した教育(共育・協育・郷育)環境づくりに努めていく。

Q

中央公民館を封鎖せよ!

A

公共施設の再編計画の中で方策を検討する

堀

中央公民館は耐震基準を満たしておらず、住民の利用制限はもちろん、職員の事務室も速やかに移転すべきだ。

大震災発生の恐れもある中、人的災害であるとの責めを負いかねない。速やかな決断を。

町長

町では令和2年度から公共施設のあり方検討を進めていて、同年度内に公共施設のあり方について、町民の意向調査の実施と分析を行う予定である。

ほり もんた
堀 門太 議員

Q

入札制度の改善を!

A

適正な入札制度なので、これまでどおり行う。

堀

本町の入札制度は予定価格の事前公表を採用しているが、予定価格が目安となつて競争が制限されて落札価格が高止まりになること、業者の見積もり努力を損な

再質問

過去において2位と3位または、3位と4位など下位での同額入札は少なくないが「1位同額」が全くない。不思議ではないか。

総務課長

本町ではこれまで1位同額の入札はないが、同額の場合には抽選で行う。

Q 自治基本条例策定の検討を!

A 今後、町民の要望があれば検討していく

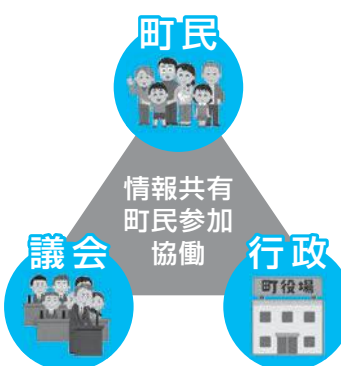


うみの ともゆき
海野 豊 議員

海野 情報の共有や町民参加と協働のまちづくりを推進していくためには、運営の基本となる理念や原則、町民、町長行政等のそれぞれの役割と責任、情報公開、計画・審議会等への町民参加など基本的ルールが必要である。

甲府市や甲斐市など多くの市町村では、すでに条例を制定している。

昭和町でも、町長その他の執行機関の責務・町民の責務、事業者の責務、町民の権利や住民参加の手続きや仕組み、町民協働の仕組みなど、しっかりと条例で決めるべきと考える。



町長 条例がまちづくりの推進と町民福祉の向上に寄与できるものとなるよう慎重に検討する必要があると考える。

これまで本町は町政運営を行う中で、各団体との意見交換、計画策定時のパブリックコメントなどを実施し、町民の皆様の意見を聞き、参加しやすい環境を整えてきた。

その結果、総合計画後期基本計画の策定にあたり実施した町民満足度調査や、民間企業による住みこころランキングでも高い評価が得られている。

今後町民の意見を聴く中で要望があれば、自治基本条例の必要性を検討していく。

Q 昭和玉穂中央通り線の今後の年次計画は?

A 令和3年度から用地交渉、4年度から工事の予定



たなか ひろし
田中 博愛 議員

田中 令和9年5月に供用開始を目指している昭和玉穂通り線の事業について、具体的な国の補助、町の負担などの概算事業費と今後の年次計画は。

町長 令和2年度から本格的に事業着手し現在、予定通り進めている。

令和3年度から順次用地交渉を行い、令和4年度以降、ある程度まとまった用地が買収できた箇所から工事を実施していく予定である。

事業費は現段階において、不動産鑑定や補償算定等事業費の算定を進めている。国の補助は事業費の1/2を見込んでいる。

Q 県道甲府市川三郷線の歩道の延伸を!

A 県に引き続き要望していく

田中 交通量が多く危険な状況の県道甲府市川三郷線について、一昨年に押越の東側の一部まで延伸した歩道を、西に向かつて押越、河東中島周辺まで延伸できないか。

町長 押越区から中央市にかけての町内ほとんどの区間において歩道がなく、町からの要望を受け、県もその状況を把握している。

早期の事業着手に繋がるよう、引き続き要望していく。

Q 第6次総合計画後期基本計画のスケジュールは?

A 令和3年2月に案を策定し、意見聴取、議員説明を行う



かわすみ やすしげ
河住 保茂 議員

河住 第6次総合計画後期基本計画の策定に向けた審議会は何回開催するのか。

町民からの意見聴取、議会への説明など具体的なスケジュールは。

また計画策定にあたり、人口動向の見込みは。

町長 年度内に審議会を3回開催する予定で、議会には12月末に後期基本計画(素案)を説明する。

その後、審議会を経て令和3年2月に案を策定し、パブリックコメントを行った後、2月下旬ごろ議員説明する予定である。

Q 職員駐車場の有料化の検討を!

A 現時点では難しく、今後検討していく

河住 借地料の軽減を算するためにも、職員の駐車場の有料化を検討すべきではないか。

町長 本町では職員以外にも多くの町民が駐車場を利用している状況である。

また、行事等があり、多くの場合には職員の使用を制限である。

人口動向は5年後の目標人口21,500人を目指して町政運営に努めていく。

再質問 審議会のメンバーは決まっているのか。

企画財政課長 既に決まっております。一般住民、各種団体の代表者、有識者で構成している。

再質問 職員から駐車料金をとるのか、とらないのか。いつごろまでに結論がでるのか。

総務課長 料金はとる方向で検討するが、現状では必ずとは答えられない。

時期についても再編計画の中で考えていく。



昭和町役場及び押原中学校職員駐車場

Q 災害時に活用可能な 家庭用蓄電池への補助金を！

A 先進事例調査等を行い、導入を検討していく



おさだ のぶお
長田 信夫 議員

長田
家庭用蓄電池は災害時に太陽光発電によって貯めておいた電気を必要に応じて利用することができ、緊急時の電力確保に備え、導入する家庭が急増している。しかし導入したくても値段が高くて手がでないという家庭も多い。県内の市でも要綱を制定し、住宅用蓄電池の補助金を交付しているところが多い。本町でも補助金を導入してはどうか。

町長
現在、本町では家庭用太陽

再質問
いつごろ要綱を制定するのか。
環境経済課長
具体的な要綱制定の時期は言えないが、調査については早期に着手する。

Q 保育園等での 障がい児保育の支援策は？

A 国に加え、町単独の助成金交付を行っている



いしはら まさのぶ
石原 政信 議員

石原
町内の保育所等4園での障がい児保育への現在の支援策と、今後の支援は。

町長

国の支援施策のほか、町単独事業による助成金の交付も行っている。今後も継続したいと考えている。また、12月から稼働しはじめた「子育て世代包括支援センター」と相互の連携を密に、子どもと保護者に寄り添った支援をさらに充実させていく。

Q 大規模災害
団員制度の
早期導入を！

町長
この制度の導入は有効な手立てと考える。
本町の消防職員OBや消防団OB、防災士や自主防災組織等の地域防災に対して高い知識と技能、行動力を持ち合わせている方々に理解と協力をいただきながら、大規模災害時に地域防災の担い手となる人材の確保や連携など、制度のあり方を検討していく。

再質問
連携とはどのようなものか。
企画財政課長
各地域の消防団OBグループ等が、災害活動グループとして地域の自主防災組織と連携できるように働きかける。

A 有効な手立てとして、制度のあり方を検討する

石原
いざ災害が起こった時に必要なマンパワーを確保するために、大規模災害団員制度を早期に導入してほしい。

Q 浸水表示板の設置を！

A 設置を前向きに検討する



かわだ あけみ
河田 あけみ 議員

河田
地域の水害リスクを知り、日常から災害への意識を備えるために、電柱等への浸水の数値の標記を取り入れるべきではないか。

町長

釜無川の想定最大浸水深を予測している状況下にある。
また、県が令和3年6月までに県管理の鎌田川の浸水想定区域を公表する予定で、それに伴い町のハザードマップの見直しを行い、浸水表示板の設置に向けて前向きに検討する。

再質問

浸水表示板の早期設置に向けて、設置場所など事前調査を進めては。

企画財政課長

国庫補助の調査も含めて、設置場所等も早急に検討し実施したい。

Q 水害対策として
流域治水の導入を
A 流域治水プロジェクトに基づき一体的に取り組んでいく

河田

水害対策として釜無川東地域の工業団地の工場や公園のグラウンドを利用して、地下に貯水池を設ける流域治水を取り入れてはどうか。

町長

令和2年9月に発足した富士川流域治水協議会で、最終的に流域治水プロジェクトが策定され公表される予定



再質問
現在、町内には何カ所の貯水池があるのか。
企画財政課長
調整池は地下式が5カ所、低床式が3カ所ある。

である。それに基づき、ハード・ソフト両面からあらゆる対策を一体的に取り組んでいく。



地区住民と議員との対話集会 井戸端会議

(紙面の都合上、一部意見要旨のみ掲載)

河東中島区 (第2回)

- 出席者 区民 25名
- 参加議員 6名
- 開催日・場所 10月18日(日) 河東中島区公会堂
- 担当常任委員会 総務教育

おもな 意見・要望と議会の対応

Q 河東中島区は町内でも標高が高く豪雨被害については少し安心しているが、身延線の下を流れる川にゴミが多く、区民では清掃ができない。氾濫する可能性があるのに対応してほしい。
A 町と協議をしていく。区民に迷惑が掛からないようにする。
A (町) 現地を確認し、J Rと協議しながら対応していく。
Q 空き家対策について、町や議会で何か考えはあるのか。
A 議会でも空き家の視察を行い、町への提言もしているが、連絡がつかないなど検討課題は多くある。今後も協議していく。

Q コロナ禍で今後のイベントはどのように行っていくのか。イベントを開催しなくて困ったことはなかったか。
A コロナ禍で今後のイベントはどのように行っていくのか。イベントを開催しなくて困ったことはなかった。



線路内の河川清掃を!

上河東区 (第3回)

- 出席者 区民 20名
- 参加議員 6名
- 開催日・場所 10月19日(月) 上河東区公会堂
- 担当常任委員会 産業厚生

おもな 意見・要望と議会の対応

Q 山伏川の桜並木の歩道が夜暗く、危険なので街灯を設置してほしい。
A 山伏川の西側(イオン側)には街灯があるが、稲の生育に影響があるとのこと、現在点灯していない。影響の少ないとされるLEDの街灯を区で設置する場合、町から補助金が出るが、該当箇所は河東中島区なので、そちらから申請を出してもらうことになる。

A (町) 区内道路にある防犯灯については、町から費用の半額の補助がでる。
また、その後の管理は区にお願いしている。
Q (仮称)生涯学習館について、現在の状況を教えてください。
A 町長は(仮称)公共施設のあり方検討会を開き、生涯学習館も含め、町民の皆さんの意見を聞きたいとのことだが、新型コロナウイルスの影響で開催ができていない。

新年度になれば動き出すとのことだが、議会からも結論を早く出すよう要請している。



山伏川に街灯を!

西条二区 (第4回)

- 出席者 区民 46名
- 参加議員 5名
- 開催日・場所 11月1日(日) 西条二区公会堂
- 担当常任委員会 総務教育

おもな 意見・要望と議会の対応

Q 来年、町制施行50周年になるが、町ではなにかイベントを考えているのか。
A 10月23日に第1回目の町制施行50周年実行委員会が開かれ、ロゴマークが決定した。意見等があれば区を通して町に伝えてほしい。
Q 町民はあまり町制施行50周年のことを知らないと思う。もっとPRしたらどうか。
A 公用車へのラッピングや役場庁舎への懸垂幕などの案はあるが、新型コロナウイルス感染症への対応などで遅れている。今後は広報などでPRするよう町に伝える。



町制施行50周年イベントは?

築地新居区 (第5回)

- 出席者 区民 20名
- 参加議員 6名
- 開催日・場所 11月17日(火) 築地新居区公会堂
- 担当常任委員会 産業厚生

おもな 意見・要望と議会の対応

Q コロナ禍における町の災害対応について、教えてください。
A 町では専門家を招き、町職員を対象として、コロナ禍における災害対応の講習会を開催し、職員の知識・技能の向上を図った。
また、各避難所での人口密度を下げるため、新たに町立図書館と温水プールを避難所として追加登録する。さらに、町内民間宿泊施設等へも避難所登録の協力を求めている。
なお、それらを踏まえて現在、災害対応マニュアルを見直し中で、令和3年に完成予定。
一方、議会としては、町民や各学校からの意見・要望を集約し、提言書としてまとめ、11月中旬に町長に提出する予定。
Q 法令により消費者安全確保地域協議会



コロナ禍での災害対応は?

令和2年度実施予定でありました以下の地区に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催することができませんでした。

- 西条一区
- 清水新居区
- 西条新田区
- 紙漉阿原区
- 飯喰区
- 河西区
- 上河東二区

議会クイズ

次の問いに教えてください。

Q 政策提案発表をしてくれたのは、
○○○○○大学生のみなさん。

正解者の中から抽選で5名の方に図書カードをお送りいたします。



No.187に
対する

こんなご意見をいただきました!

新型コロナウイルスに惑わされている今年。こんなときに大きな地震が起きたら!! 感染対策に配慮した避難所開設に直に取りかかってください。お願いします。

メールにて(61歳・女性)

「昭和町議会リモート防災訓練を実施」の特集では、議員の皆様が色々と努力している様子がわかりました。(その他多くの貴重な意見をいただきましたが誌面の都合上割愛させていただきました)

メールにて(70歳・男性)

コロナ禍において通年議会移行は大賛成です是非とも導入して下さい。

ハガキにて(70代・女性)

ご意見をいただいた方には個別に回答させていただきます。

【応募方法】

①クイズの答え ②住所 ③氏名(ふりがな)

④年齢 ⑤議会だよりを読んだ感想

を記入して、はがき・FAXまたはメールにてお送りください。議会だよりへの要望・意見等もありましたら、お願いいたします。

【あて先】

●〒409-3880 昭和町押越542-2

昭和町議会事務局「議会クイズ係」宛

●FAX:055-275-0370

●メール

gikai@town.yamanashi-showa.lg.jp

《しめきり》2月末日 消印有効



メールに移動

追跡 あの質問はどうなった?

議員の質問に、町当局がその後どのように対応し、どうなっているかを追跡・検証してみました。



追跡

町制施行50周年に住民参加の企画を

令和2年3月議会 河田 あけみ 議員

問

令和3年に「町制施行50周年」を迎えるが、この大きな節目をアピールし、準備と事業企画をすべきと思うが、住民参加で思い出に残る映像等を作成してはどうか。

答

「45周年」はふるさとふれあい祭り開催前に記念式典を行ったが、「50周年」は別日程で開催したいと考えている。加えて、何らかのイベントの実施を考えているが、具体的には新年度に庁内会議等で検討していきたい。

こうなりました

町制施行50周年実行委員会が組織され、これまでに記念ロゴマークの募集・決定や各種事業の専門部会の設置などが行われた。今後は令和3年4月1日までを「事前周知期間」と位置づけ、記念ロゴマークを活用した周知を行い、令和3年度においては、記念式典を軸に様々なイベント・事業を展開する予定。



町制施行50周年記念ロゴマーク

組合等議会報告

甲府地区広域行政事務組合議会

昭和町・甲府市・甲斐市・中央市の3市1町で構成

12月定例会

【令和元年度決算】

歳入総額 36億8791万円 歳出総額 36億2730万円
負担金総額 33億4187万円 昭和町負担額 2億6197万円

【その他の議案】

専決処分《2件》、特別会計補正予算《2件》、
条例一部改正《1件》、公平委員会委員の選任《1件》

山梨県後期高齢者医療広域連合議会

県下27市町村で構成

令和2年第2回定例会

【令和元年度決算】

歳入総額1055億6661万円 歳出総額 1047億5552万円
負担金総額 5億337万円 昭和町負担額 1051万円

【その他の議案】

専決処分《2件》、一般会計・特別会計補正予算《2件》、
条例一部改正《1件》、監査委員の選任《1件》

三郡衛生組合議会

昭和町・中央市・南アルプス市・富士川町・市川三郷町の2市3町で構成

令和2年第2回定例会

【令和元年度決算】

歳入総額 4億7715万円 歳出総額 4億5654万円
分担金総額 4億1687万円 昭和町分担額 2645万円

中巨摩地区広域事務組合議会

昭和町・甲斐市・中央市・南アルプス市・富士川町・市川三郷町の3市3町で構成

9月定例会

【令和元年度決算】

歳入総額 18億2676万円 歳出総額 17億6979万円
負担金総額13億5517万円 昭和町負担額 1億6926万円

【その他の議案】

特別会計補正予算《2件》、監査委員の選任《1件》

12月定例会

【提出議案】

専決処分《2件》、特別会計補正予算《1件》

山梨西部広域環境組合議会

昭和町・韮崎市・南アルプス市・北杜市・甲斐市・中央市・早川町・身延町・南部町・富士川町・市川三郷町の5市6町で構成

令和2年第2回定例会

【令和元年度決算】

歳入総額 1382万円 歳出総額 792万円
負担金総額 1062万円 昭和町負担額 67万円

これらの案件はすべて、
承認・可決・同意となりました。

青空と緑と産業のまち「昭和町」に住む
皆様にご意見・ご感想を伺いました。



住んで良かった昭和町

昭和町に住み始めて20年。

西条新田区から西条二区、そして現在は清水新居区と、3つの地区で暮らしてきました。各地区で知り合った、様々な世代、多くの仲間に可愛がっていただき、昭和町ライフを楽しんでいます。子どもたちはスポーツ少年団にお世話になりましたが、町内3校がひとつのチームで活動することで、幅広い交友関係を築くことができ、不安なく、楽しい学校生活を送ることができています。親子共々、充実した生活を送れているのも、多くの方に支えられながら「住みやすい町・昭和町」に住んでいるからだと思っています。

その昭和町も今年で町制施行50周年の節目を迎えます。

これまでの発展に貢献された先人の皆さまへ感謝するとともに、これからの半世紀を担う、若い世代の新たな仲間が「住んで良かった」、「これからも住み続けたい」と思ってもらえる魅力ある昭和町に発展していけるよう、何かしらの形で貢献していければと思っています。



清水新居区
もちづき

望月

たけお
威夫さん



河西区
みなみ

薬袋

つばささん

昭和町に住んでみて

結婚を機に、夫の実家のある昭和町河西に移り住み5年になろうとしています。

はじめは周りに知り合いもなく、今後この地域で馴染めるだろうかと不安に思う事もありました。しかし、今では2人の子どもが生まれ、夫のご両親にも手助けしてもらいながら、楽しく生活が送れています。2人のわんぱくな息子達は外に出かけるのが大好きで、夫の実家の庭や近所へ散歩に行ったり、公園で遊んだり、子育てしていく上でも昭和町はとても住みやすい町だなと感じています。これから子ども達も大きくなり、地域の方々ともたくさん関わりを持ち「自分が育った町は良い町だったな」と大人になって思ってもらえるように私も昭和町に貢献し、より良い町づくりをしていきたいです。

新型コロナウイルスにより、今まで「普通」に生活できていた事がどんなに幸せな事だったのか身に染みて感じています。まだまだ終わりは見えませんが早く元通りの生活が、子ども達が安心して暮らせる日が来る事を願っています。

編集後記

年が明け、早くもひと月がたとうとしています。

町議会では、新型コロナウイルス感染症対策を検討し、町へ政策提言をしてきましたが、いまだに終息しない状況が続いています。引き続き、新たな対策を検討するとともに、新しいワクチンの効果を期待し、少しでも早く元の生活に戻りたいものです。

議会広報編集常任委員会では、町民の皆様のご意見をお聞きするとともに「議会じゃあ何をしてるで？何を議論してるで？」といった、皆様の知りたいことをわかりやすくお知らせしていきたいと考えています。今後、多くの皆様に、議会広報を読んでもいただき、議会を知っていただくと同時に、読みたくなる広報作成のため、ご意見やご要望をお願いいたします。

広報編集常任委員長

小林 耐三

広報編集 常任委員会

委員長	小林 耐三
副委員長	長田 信夫
委員	石原 一好
	金丸 富一
	海野 政信
	石原 政信

議会を 傍聴 しませんか??

次回定例会は
3月4日(木)
開催予定です

【お問い合わせ】
☎275-8842(議会議務局)

